



# 浦島伝説

令和7年1月17日

第31号

## 30年前（平成7年1月17日）

ちょうど30年前の1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部を震源として発した地震はマグニチュード7.3。当時、戦後最多となる死者と甚大な被害が出ました。この地震は、気象庁によって平成7年（1995年）兵庫県南部地震と命名され、のちに政府によってこの地震によって引き起こされた災害のことを阪神・淡路大震災と呼ぶと決定されました。戦後の日本で初めての大都市の直下を震源とする大地震で、気象庁の震度階級に震度7が導入されてから初めて最大である震度7が記録された地震でもありました。野島断層と呼ばれる断層が大きくずれて発生した地震です。



倒壊した阪神高速道路神戸線（東灘区）



三菱銀行兵庫支店ビル

約6,400人ものが死者が出ました。地震が直接の死因とされた5,488件のうち、5,175人が発生当日亡くなりました（94.3%）。約8割は窒息・圧迫死でした。犠牲者は高齢者が多いのですが、比較的男女とも20～24歳の若い人の死者が多かったことが特徴です。被災地には大学が多く、木造アパートに住んでいた学生が倒壊したアパートの下敷きになったケースが多くありました。

発生した年	震災名	死者数	一番多い死因とその割合
1923年	関東大震災	約10万5千人	火災 87.1%
1995年	阪神・淡路大震災	約6,400人	建物倒壊 83.3%
2011年	東日本大震災	約1万5900人	溺死 90.6%
2016年	熊本地震	約200人	建物倒壊 76.0%
2024年	能登半島地震	約400人	建物倒壊 90.5%

表のとおり、発生場所や発生時間帯などによって被害の大きさや死因は異なります。

香川県は、日本でもトップクラスで自然災害が少ないところです。しかし、県外への旅行や将来他県で暮らす日がくるかもしれません。親戚や友人が県外に行くこともありえます。毎日、日本列島のどこかで地震は発生しています。規模が大きな地震が発生したとき、総合的に考え、適切に判断することが大切です。災害対応について、日ごろ自分の課題として考えておきましょう。



崩れたマンションから救出（芦屋）



避難所で布団にくるまり、配給のおにぎりを分け合う子供たち（灘区）

日、日本列島のどこかで地震は発生しています。規模が大きな地震が発生したとき、総合的に考え、適切に判断することが大切です。災害対応について、日ごろ自分の課題として考えておきましょう。